

2023年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
設計演習 1											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	大澤 公仁			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
構造設計事務所にて海外での建設現場における構造設計を担当し、その後は不動産会社において住宅の設計・改修工事に従事した経験を持つ。伝統工法を用いた住宅設計を専門としている。											
授業概要											
建築製図 1（5週）・基礎デザイン（5週）・ものづくり実習 1（5週）をクラスごとのローテーションで実施。自らの手で1本の線を引くところから、すべての造形活動、創作活動がスタートすることを学ぶ。各課題の体験の積み重ねにより、造形分野で必要となる図画力、形態操作に対する観察力と考察力等のものづくりの基盤を養う。											
到達目標											
次の 3 点を到達目標とする。 ①身体寸法や動作空間を理解し、スケール感覚を習得する。 ②作図しながら図面同士の整合性や模型と図面との整合性を習得する。 ③心地よい場所や関係性を理解し、計画を組み立てる力を習得する。											
授業方法											
与えられた条件を理解し、それに必要な調査を行ったうえで、繰り返し検討を重ねながら自身の計画案を組み立てていく。平面図から屋根伏図を考え、断面・立面図が描ける力を身につけ、模型で表現までできるようにする。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
第 3 版 コンパクト建築設計資料集成 丸善 建築デザイン製図 学芸出版社											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、1人称空間の設計①										
第2回	1人称空間の設計②										
第3回	1人称空間の設計③										
第4回	1人称空間の設計④										
第5回	1人称空間の設計⑤（発表）										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
設計演習 1	
第6回	2人称空間の設計①
第7回	2人称空間の設計②
第8回	2人称空間の設計③
第9回	2人称空間の設計④
第10回	2人称空間の設計⑤（発表）
第11回	5人程度の空間設計①
第12回	5人程度の空間設計②
第13回	5人程度の空間設計③
第14回	5人程度の空間設計④
第15回	5人程度の空間設計⑤（発表）